

ART POINT MEETING

東京アートポイント計画

日常に還す

#04

リスクを考える

「まち」をフィールドに人々の営みに寄り添い、アートを介して問いを提示するアートプロジェクト。「Artpoint Meeting」は、アートプロジェクトに関心を寄せる人々が集い、社会とアートの関係性を探り、新たな「ことば」を紡ぐイベントです。

参加費無料
定員70名

要事前申込

平成

30年1月27日

【土曜】

100BANCH 3F LOFT

14:00～17:00 (13:30 開場)

住所 | 東京都渋谷区渋谷 3-27-1 3 階 / アクセス | JR 渋谷駅新南口から徒歩約 2 分

主催 | 東京都、アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

ARTS
COUNCIL
TOKYO



ART POINT MEETING #04

「文化」は、わたしたちの「日常」に、どう作用するのでしょうか？ 社会的な問題もやさしくひらき、「生活にかえていく」ことを目指す文化施設、「生活工房」の竹田由美さん。アーティスト、研究者、文筆家として、人々の日常生活に近接した文化活動を手がけるアサダワタルさん。ユニークな事業を生み出してきた2名のゲストとともに考え、ことばを紡ぎます。

PROGRAM

モデレーター 中田一会

東京アートポイント計画 プログラムオフィサー
コミュニケーション・デザイン担当

14:00 オープニング

14:20 トーク1 暮らしを変えるデザインミュージアム — 「生活工房」の実験とは？

ゲスト 竹田由美

Yumi Takeda
公益財団法人せたがや文化財団
生活工房主任／学芸員



1977年東京生まれ。世田谷文学館学芸員を経て、2006年より現職。「活版再生展」、「7つの海と手しごと」シリーズ、「I'm so sleepy どうにも眠くなる展覧会」、「時間をめぐる、めぐる時間の展覧会」など、参加者とともに感じ・考える企画を作り続けている。

15:10 トーク2 日常の“厚み”を“表現”に — なぜ「遠足」や「ラジオ」がアートなの？

ゲスト アサダワタル

Wataru Asada
文化活動家・アーティスト



1979年大阪出身・東京在住。言葉や音楽を手がかりに、全国各地で様々な地域コミュニティ、福祉現場に携わる。「住み開き 家から始めるコミュニティ」（筑摩書房）、『コミュニティ難民のススめ』（木楽舎）など著書多数。サウンドプロジェクト「SjQ / SjQ++」ドクター。博士（学術）。

15:50 フロアディスカッション+パネルセッション「日常に還す」

パネリスト 竹田由美、アサダワタル、森司（東京アートポイント計画 ディレクター）

17:00 終了

※プログラムは変更になる可能性があります。

東京アートポイント計画とは

東京の地域社会を担うNPOとともにアートプロジェクトを実施し、NPOの活動と組織の両面の成長を支援する先進的な取り組みです。目指すのは、日常や社会に芸術文化が根付き、長期的な東京の魅力創造につながること。そのために、アートプロジェクトを担う人材の育成や活動基盤の整備も重視しています。

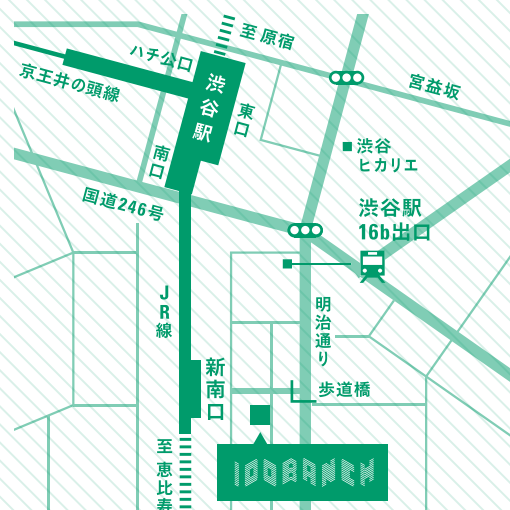
<https://www.artscouncil-tokyo.jp/>

お申込み 下記ウェブページからお申込みください。

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/events/24124/>

※お預かりした個人情報は、本事業の運営及びお知らせのみに使用します。
※定員になり次第、申込みを締め切ります。

お問い合わせ：アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
TEL：03-6256-8435（平日 10:00～18:00）／080-9081-0171（イベント当日）
E-mail：info-ap@artscouncil-tokyo.jp



住所 | 東京都渋谷区渋谷 3-27-1 3階
アクセス | JR 渋谷駅新南口から徒歩約2分

日常に還す